

ソーシャル・イノベーション

政策メディア研究科兼 総合政策学部教授 鈴木寛

2016年 10月 27日

ソーシャルイノベーション：アショカ

- Everyone a changemaker
- 社会システムを根底から変えるアイデアを生み出した人々を支える仕組みを創る
- 社会にある膿を生み出す根本をつきとめ、新しい仕組みをつくる人々のネットワーク

アショカが大切にしているもの

- 内省
- 共感 Empathy
- おかしいと思ったらリスクをとって行動する勇気
- レジリエンス 失敗から立ち上がる力

社会起業家（アショカ）

- 社会起業家

既存の枠組みを超えた新しい発想で、深刻かつ差し迫った社会問題に対するあらたな解決方法を編み出し、世界規模で社会システムを変えていく人

アショカ ジャパン

- 物質的な豊かさの裏で精神的な貧困が生み出すさまざまな社会問題の軽減をめざす
- 社会のなかでおかしい、と感じた心の気づきをもとに、それを変えるアクションを起こしている若者
- エンパシー、内省力、リスクをとる勇気、レジリエンス
- 大事なのはImpact

社会起業家 by ビル・ドレイトン（アショカ）

- 革新的手法で社会の緊急課題を解決する人々。
- 社会問題に対処するための新たな解決策を考案し、それを大規模に実行する。
- 野心的で粘り強く、深刻な社会的問題に取り組み、新たな発想で大規模な変革を起こす。
- 世界を変えるための希望、ビジョン、力をもっている。
- 社会のニーズを政府や企業セクターに任せきりにせず、問題点を探り出し、システムを変革することによって問題を解決する。その後、その解決策の普及に努めると同時に社会全体を新たな飛躍へと駆り立てる。
- 先見の明があると同時に究極の現実主義者でもある。ビジョンを実現することが最大の関心事。
- すぐれた社会起業家のアイデアは、相手の立場に配慮し、わかりやすく倫理的なものである。
- だれも気づいていないチャンスを見つけてシステムを改善し、新たな手法を開発して、解決策を考案する。そうすることによって、社会をより良い方向へ導く。

Ashoka fellow

- アイデアの斬新さ
- 模倣可能な仕組み
- 人間としての資質

ソーシャルイノベーションのポイント

- 誰の何を幸せにしたいのか
- 問題を定義する
 - 現在の情報収集
 - ✓ そのような似た人が、どこにどれくらい居るのか
(そのようなことが、どこにどれくらい起こっているのか)
 - ✓ データ、ケースを知る（エビデンス） バイアスの補正
 - 過去・経緯の情報収集
 - ✓ 歴史的段階・局面、トレンドを知る
 - ステークホルダー分析（当事者、当事者間の関係をより具体的に明らかにする）
 - 新たな理論・枠組みを理解し、活用する
 - ✓ 複雑系、行動経済学、哲学
 - 難問の構造を明らかにしたい（部分最適、コフリクト、ジレンマ、エコシステム）
- 解決策を構想・デザインする
 - ソーシャルリソースのチェック ※強み
 - 未来・将来の情報収集（社会動向、技術動向を知る） ※機会、脅威
 - ルール（システム）、ロール（人事・組織）、ツール（方法）
 - PCCP

前回のワーク振り返り：自分の問題意識を考える

- 誰の何を幸せにしたいのか。
 - ✓ 他人事ではないと感じる課題。
 - ✓ 当事者として、身につまされている問題。
 - ✓ 不条理・理不尽。怒りに身体が震えたこと。
 - ✓ 思わず涙した憤り、悲しみ体験。
 - ✓ 楽しい体験

問題を定義する

絶対に解けない受験世界史



高大社接続改革

ステークホルダー

- 受験生
- 受験生の親
- 高校
- 高校生
- 高校部活の顧問やメンバー
- 高校担任
- 高校校長
- 教育委員会
- 理事会（私立）
- 予備校
- 大学生
- 国立大学
- 私立大学
- 海外大学
- 大学入試センター
- OB会
- 同窓会
- 文部科学省
- 財務省
- 経済産業省
- 厚生労働省
- 就活生
- 就活生の親
- 企業
- 企業人事

ステークホルダー間の関係例



Copyright ©DREAM INCUBATOR INC. All Right Reserved